

# 編集後記

今月の「子供讃歌」はラオスの子どもたちの写真です。本文を書いていただいたチャンタンさんに提供していただきました。自分の頭より大きな頭の妹（弟？）をおんぶして遊ぶ女の子。半世紀ほど前まで、日本でもよく見られた光景です。この子どもたちの瞳の輝きは、この何十年かの間に、日本が無くしてしまっただけかを思い出させてくれませんか？ 本当の豊かさとは、何なのでしょう。

\*  
こだわりの逸品とか、こだわりを持って一つの作品に打ち込む、など職人や芸術家の世界のように、個人

に対する評価がそのまま認められる社会では、こだわりは良い意味で受け入れられています。しかし、世の中全般を見てみると、こだわりを持つことは、人たちが意見を持つこと、流れに逆らうことであり、時にはものすごい反撥のエネルギーにもなります。それは決して生きやすいことではないようにも思えます。保育や教育現場の子ども達についてはどうなのでしょう。こだわりのある子は、大人たちにとって、どうも扱いかいにくい存在だ、ということはないでしょうか。集団の中で、適応力をつけたり、気持ちの切り替えということも必要なのでしょうが、保育者自身が何にこだわり、何を大切にしていくなかという、選択力を持っているかどうか、問われているのではないのでしょうか。

(K)

## 幼児の教育

第九十四巻 第二号

(一九九五年二月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

発行 平成七年二月一日

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一―一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五―二一―一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込

六一―四一九

☎〇三―五三九五―六六〇四

振替 〇〇―一九〇―二一―一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。